負担金検証調書【平成28年度交付分】

1 負担金の予算決算等について

負担金の名称	平成28年 成同盟会		·備促進期	市の担当部課	都市整 当	医備部 都市計	·画課 計画·調整担	問い合わせ先	0568-44-0330(1241)	
負担金の金額	予算額	295,000 円	当初交付額	295,0	四 00	決算額	295,000 ₽	前年度決算額	295,000 円	

2 負担金の交付先について

	名称	木曽川	上流域公園整備促	進期成同盟会	(法人格の有	頁無)	無	代表者	江南市長 澤田和延	所在	江南市		
六仕生の出口	構成団体	一宮市	一宮市・江南市・犬山市・稲沢市・扶桑町										
交付先の状況	設置の根拠	木曽川	木曽川上流域公園整備促進期成同盟会会則(昭和50年6月制定、昭和51年、昭和63年、平成元年、平成12年、平成17年改訂)										
	意思決定の方法	通常総	通常総会及び臨時総会										
	所在	江南市	す 都市整備部 まち	- うづくり課			代表者		江南市まちづくり課長				
	事業資金の管理	里責任者	江南市まちづくり課長					全の管理者	江南市まちづくり課長				
事務局の体制等			が市である場合) レに準じているか?		完全準拠でない 場合の内容等								
	決裁の方法		が市でない場合) 本的に記述	江南市の基準に合わせて支出を行っている。								有	
	事業資金等の保	保管方法	金融機関で保管	i								•	

3 負担金の対象となる事業等について

事業内容 (事業の全体像)	年2回の幹事会、年1回の総会、要望活動、視察研修
(犬山市の役割)	構成市である一宮市、江南市、稲沢市、扶桑町と木曽川上流域の公園整備の促進を図る。 情報誌「きそがわかわなみ通信」発刊の支援を行う。
事業実績 (具体的な手法)	2回の幹事会・総会の開催 木曽川上流河川事務所・中部地方整備局・国土交通省への要望活動 視察研修(亀山サンシャインパーク・三重県上野森林公園)
負担金を交付して 市が得たメリット	同盟会を通じての国への要望活動により、木曽川上流域の国営公園整備が促進している。 視察研修参加により、職員の技術力向上に繋げている。 情報誌「きそがわかわなみ通信」により犬山市の情報発信を行っている。

4 負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額(当初	犬山市負担金額(当初支出額) 29		5,000 円	精算0	D有無	無	無 精算(返還)			0 円	精算後の負	負担金の額	295,000 円
負担金の対象となる金	場合は精算前の額) 収入額			3,525,0	53 円	支出額	2,2	2,222,216 円		1,302,837 円			
構成員の負担	人口割りと均等割												
余剰額が発生した場合の取扱い			次年度へ繰越									繰越額	1,302,837 円
交付先における収入の	負担金2,333,000円 繰越金1,191,739円												
	項目		予算(当初支出時			の想定)							
	-	Ħ	積算等		金額			積算	等	金額		契約の方法、相手方等	
	会議費		総会費		150,000 円] /	総会費		49,259 円			
	会議費		役員会費		20,000 円]			円			
	事業費		事業促進	費			2,000,000 円] -	事業促進費		917,2	91 円	要望費 349,411円 自業推進費 研修費 84,040円 483,840 円
交付先における 支出の状況	事業費		協賛金及び			1,250,000 円	3 1	劦賛金及び負 拮	旦金	1,250,0	00 円	江南・三派川・稲沢実行委員会 合計 650,000円 木曽川沿線濃尾連携の会 600,000円	
	事務費						50,000 ₽	1			2,3	318 円	
	雑費						15,000 円				3,348 円		
	予備費	予備費			40,000 円		3			Ħ			
	合	計					3,525,000 ₾]			2,222,2	:16 円	
	積算がた の特記		決算(実績	5)は平成2	7年度数值	直を記	己載						